【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成29年9月28日(2017.9.28)

【公表番号】特表2016-537144(P2016-537144A)
【公表日】平成28年12月1日(2016.12.1)
【年通号数】公開・登録公報2016-066
【出願番号】特願2016-536415(P2016-536415)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｇ　10/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　33/40　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　37/08　(2006.01)
Ａ６１Ｍ　16/12　(2006.01)
Ａ６１Ｄ　11/00　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　9/015　(2006.01)
Ａ６１Ｌ　9/01　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｇ　10/00　Ｚ
Ａ６１Ｋ　33/40
Ａ６１Ｐ　31/00
Ａ６１Ｐ　11/00
Ａ６１Ｐ　37/08
Ａ６１Ｍ　16/12
Ａ６１Ｄ　11/00
Ａ６１Ｌ　9/015
Ａ６１Ｌ　9/01　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成29年8月18日(2017.8.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被験者の呼吸器疾病を治療するための方法に使用するための精製過酸化水素ガス（ＰＨＰＧ）を含む組成物であって：前記方法は、
０．０１～７．０百万分率（ｐｐｍ）の最終濃度で、実質的に水和とオゾンを含まず、かつ、少なくとも０．０５単位のＰＨＰＧの供与量を提供する精製過酸化水素ガス（ＰＨＰＧ）を含む治療用の密閉空間を提供する工程と；ついで
少なくとも１つの期間にわたって前記被験者を前記環境に曝す工程と、を含み、
前記治療が、呼吸器感染症の重篤度の低減、呼吸器感染症の持続期間の短縮、アレルギーの重篤度の低減、呼吸器感染症の伝染の防止、集団内での呼吸器感染症の伝染の低減、肺機能の改善、または、それらのいずれかの組み合わせを含む、ことを特徴とする組成物。
【請求項２】
前記肺機能の改善が、静的肺容量の増加、全肺気量の増加、動脈血液ガスの酸素の分圧

の上昇、残気量の減少、または、それらのいずれかの組み合わせを含むことを特徴とする、請求項１に記載の被験者の呼吸器疾病を治療するための方法に使用するための組成物。
【請求項３】
前記期間が、連続して少なくとも１５分であることを特徴とする、請求項１に記載の被験者の呼吸器疾病を治療するための方法に使用するための組成物。
【請求項４】
前記期間が、２４時間の期間で少なくとも１５分であることを特徴とする、請求項１に記載の被験者の呼吸器疾病を治療するための方法に使用するための組成物。
【請求項５】
前記期間が、７日間で少なくとも８時間であることを特徴とする、請求項１に記載の被験者の呼吸器疾病を治療するための方法に使用するための組成物。
【請求項６】
曝露の総時間が、少なくとも１時間であることを特徴とする、請求項１に記載の被験者の呼吸器疾病を治療するための方法に使用するための組成物。
【請求項７】
前記曝露を、毎日、毎週、隔週、または、毎月、１回以上反復することを特徴とする、請求項１に記載の被験者の呼吸器疾病を治療するための方法に使用するための組成物。
【請求項８】
前記環境が、０．１ｐｐｍを超える最終濃度でＰＨＰＧを含むことを特徴とする、請求項１に記載の被験者の呼吸器疾病を治療するための方法に使用するための組成物。
【請求項９】
前記期間が、少なくとも１週間にわたって１日当たり少なくとも１時間であることを特徴とする、請求項１に記載の被験者の呼吸器疾病を治療するための方法に使用するための組成物。
【請求項１０】
前記期間が、少なくとも４時間であることを特徴とする、請求項９に記載の被験者の呼吸器疾病を治療するための方法に使用するための組成物。
【請求項１１】
前記曝露の総時間が、１日当たり少なくとも４時間であることを特徴とする、請求項６に記載の被験者の呼吸器疾病を治療するための方法に使用するための組成物。
【請求項１２】
前記被験者を１日当たり０．０５単位のＰＨＰＧの最小供与量に曝すことを特徴とする、請求項１に記載の被験者の呼吸器疾病を治療するための方法に使用するための組成物。
【請求項１３】
被験者の呼吸器疾病の防止、治療、または、管理に適した環境の作成のための精製過酸化水素ガス（ＰＨＰＧ）の使用であって、
実質的に水和とオゾンを含まない過酸化水素ガスを生成する工程と、
環境に前記過酸化水素ガスを供給する工程であって、前記環境が少なくとも０．０１百万分率の最終濃度で前記ＰＨＰＧを蓄積する工程と、を含む使用。
【請求項１４】
前記環境が０．０１ｐｐｍ～７．０ｐｐｍである最終濃度を含むことを特徴とする、請求項１３に記載の使用。
【請求項１５】
前記環境が０．０１ｐｐｍ～７．０ｐｐｍである最終濃度を含み、かつ少なくとも０．０５単位のＰＨＰＧの供与量を提供することができることを特徴とする、請求項１３に記載の使用。